

旧制松江高等学校寮歌

# 青春の歌

作詞 佐野 富登志  
作曲 岩佐 万次郎

緩やかに

3. 3 5. 5. 3 2 1 6. 5. 5. 1 2 3 2. 0  
めもばろ ばーろ と ももいーろ の

3. 3 5. 5. 3 2 1 6. 5. 5. 2 3 2 1. 0  
はるのく もーゆ く おほぞーら な

2. 2. 2. 2. 1 2 3 5. 6. 6. 5 4 3 2. 0  
あふぎて たーて る わかーうーご に

3. 3 5. 5. 3 2 1 6. 5. 5. 5 6 7 1. 0  
さん しゅん きーよ き はなのーか げ



一  
目もはろかくと桃色の  
春のくも行く大空を  
仰ぎて立てる若人に  
三春清き花のかげ

二  
あ、この若く円かなる  
丘にむすべる夢と夢  
永遠の命にとけてゆく  
行方は知らず霞むかな

三  
ふるさと遠く日は落ちて  
四方の山脈むらさきに  
夕月登るみづうみの  
舟に遊子の思ひあり

四  
夏まだ浅き鏡の上の  
狭霧はるれば立ちませる  
御子の剣の光今  
我等の胸に宿るなり

五  
鹿なく夕月山の  
いたゞき草は長うして  
かの英雄の夢の跡  
弦月あはくてらすかな

六  
それ鴻はつばさ張り  
豁然はれし日本海  
渺茫紫紺波の上  
青雲分けて旅ゆかむ

七  
千里こほれるシベリアの  
黎明赤き空のいろ  
秘めし古城にたゝずめば  
蒙古の秋の陽は暑し

八  
ガンジス河に咲く花の  
もゆる緋になく丘の子に  
濁流ひろき大河ゆく  
支那七月のつばくらめ

九  
あ、青春ぞいのちなる  
血潮高鳴る男子らの  
若く雄々しきまなざしは  
焔と燃えて果てしらず

十  
さはれ恵みの丘の上の  
夢安らげき思出の  
花咲く園にかゝやける  
大日輪のおごりかな